

# 2023年度 消費生活アドバイザー資格試験

## 論文試験問題

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 1. 制限時間 | 60分                              |
| 2. 制限字数 | 800字以内(ただし600字以上<br>記述することが望ましい) |

(2023年12月10日実施)

消費生活アドバイザー資格試験は、消費生活相談員資格試験を兼ねて実施します。

### (受験上の注意)

- 受験中は、受験票および写真付身分証明書を必ず机に出しておいて下さい。
- 受験中は、携帯電話等の通信機器の電源を必ず切ってください。
- 筆記用具はHB以上の鉛筆またはシャープペンシルを用い、濃くはっきりとした文字で記入して下さい。  
文字の修正には、消しゴムを使用して下さい。
- 参考書・電卓等、3.で記載の筆記用具以外の使用を禁じます。  
筆箱等のケース類も机の上に置かないで下さい。
- 論文試験用紙に受験番号と氏名を必ず記入して下さい。
- 選択した論題番号(1～3)を必ず論文試験用紙の論題番号欄にご記入下さい。
- 試験内容に関する質問には一切お答えいたしません。
- 途中退出する場合は、論文試験用紙を試験監督員に提出して静かに退席して下さい。

一般財団法人日本産業協会

【禁無断転載】

次の論題3題（1～3）の中から1題を選択して記述しなさい。  
選択した論題番号は論文試験用紙の論題番号欄に記入しなさい。

(論題番号)



<消費者問題>

1. 図表を参考にし、以下の3点について論じなさい。

- (1) 図1における18歳・19歳の消費生活相談件数の動向とその理由
- (2) 表1を参考に、2022年度の年齢階級別の消費生活相談の特徴とその理由
- (3) それぞれの年齢階級別の消費者被害に対する具体的な被害防止方法

図1 PIO-NET<sup>(注)</sup>における契約当事者が18歳・19歳の相談件数の推移

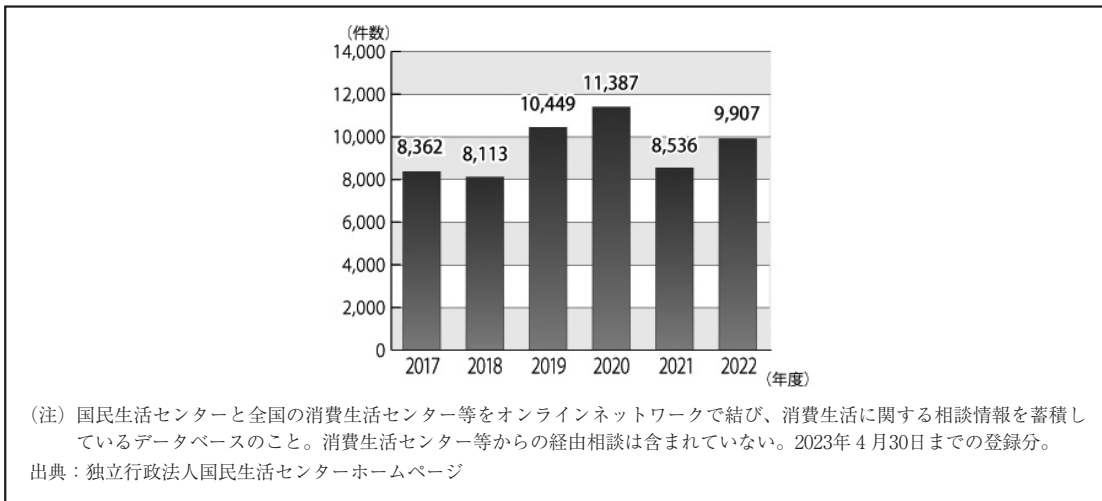


表1 2022年度の年齢階級別、消費生活相談の販売購入形態別割合

	店舗購入	訪問販売	電話勧誘販売	インターネット通販	インターネット通販以外の通販	マルチ取引	ネガティブ・オプション	訪問購入	その他の無店舗	不明・無関係
20歳未満	15.4	3.1	1.2	61.2	10.0	0.3	0.3	0.0	0.4	7.9
20歳代	33.3	7.8	4.7	27.2	8.3	3.3	0.4	0.1	0.7	14.3
30歳代	28.9	5.6	3.2	33.9	9.1	0.8	0.5	0.2	0.6	17.2
40歳代	23.0	5.4	3.2	39.4	9.3	0.6	0.5	0.3	0.6	17.8
50歳代	20.5	5.4	4.2	39.2	9.6	0.6	0.4	0.6	0.6	19.0
60歳代	18.5	7.1	5.5	33.3	10.4	0.5	0.4	0.9	0.6	22.8
70歳代	19.6	11.1	6.6	20.5	13.2	0.5	0.4	1.5	0.7	25.9
80歳以上	16.9	19.2	8.5	8.0	15.5	0.5	0.4	2.9	0.7	27.3

1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2023年3月31日までの登録分）。 (%)  
 2. 「インターネット通販」の相談については、いわゆる通常のインターネット通販より広い概念を含んでおり、インターネットサイトを利用したサイト利用料、インターネットゲーム等も、消費生活相談情報では「インターネット通販」に入るため、データの見方には注意が必要。  
 出典：令和5年版「消費者白書」より表を作成

### <法律>

2. 消費者契約法は、事業者の不当な勧誘により消費者が困惑して消費者契約の申込みまたはその承諾の意思表示をしたときに、これを取り消すことができる場合について規定している。これらのうち、特に若年消費者および高齢消費者に多く見られる消費者被害に係る代表的な場合を、あわせて3つ指摘し、それぞれ具体例を挙げつつ、規定の内容について説明しなさい。また、困惑による取消しの規定の限界と残された課題についても論じなさい。

### <企業経営>

3. 企業による社員のリスクリングに関する取り組みが、近年注目を集めている。この点を踏まえ、以下の2点について論じなさい。
  - (1) 社員に対してリスクリングの機会を提供することは、企業にとってどのような意義があるのだろうか。次のキーワードを用いながら説明しなさい。  
キーワード語句：日本的経営、ジョブ型、個人のキャリア
  - (2) リスクリングの機会提供に伴って企業が抱える課題を具体的に指摘した上で、それを克服するために、企業はどのような取り組みを推進すべきかについて論じなさい。

(メモ欄)